



科学、芸術、自然をつなぐ国際フェスティバル 「科学と芸術の丘2019」の開催について —テーマ— Citizens of the Future (未来の市民)

11月16日(土)～17日(日)の②日間、先端科学と芸術が融合した、国内では数少ないフェスティバルを昨年に引き続き開催します。今年は「Citizens of the Future (未来の市民)」をテーマに、世界で活躍し、時代を切り開く研究機関や研究者、アーティストたちが松戸市に集まり、戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園を舞台に、先端科学を駆使した特別展覧会やワークショップ、研究者やアーティストによるトークイベントなどを行います。



本イベントは昨年初めて開催し、今年は2回目となります。伝統と歴史、自然が息づく戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園を舞台に、オーストリア・リンツ市を拠点に活動する世界最大のメディアアート機関「アルスエレクトロニカ」の研究者やアーティストをはじめ、日本的な文化をテクノロジーで表現するアーティストの市原えつこ氏や、先端技術を研究する東京大学生産技術研究所山中研究室、アメリカ発のスペースアートプロジェクトなどが特別展覧会やトークイベント、ワークショップなどを行い、国際的なコラボレーションを実施します。

基調講演には、世界最高齢のアプリ開発者として注目される若宮正子氏が登壇する他、各研究者やアーティストのトークイベントも多数実施し、千葉大学園芸学部野村研究室による探検ワークショップの実施や松戸市少年少女発明クラブの子どもたちが手掛けた作品の展示なども行われます。

科学の分野を芸術として視覚的に表現する、国内でも数少ないフェスティバルです。「伝統」と「先端科学」を組み合わせ、未来の国際創造都市の実現を目指して開催する本取り組みが、真にクリエイティブな街や社会を築くための触媒となり、市内外の皆さんと一緒に豊かな未来を築いていくことができると考えています。



科学と芸術の丘2019 概要

テーマ/Citizens of the Future(未来の市民)

開催日時/2019年11月16日(土)10時~17時(丘のマルシェは16時まで、
オープニングトークは12時30分から戸定邸にて)

2019年11月17日(日)10時~16時(戸定邸は17時まで開館)

料金/無料(戸定邸のみ入館料一般250円、高校大学生100円)

会場/戸定邸・松雲亭・戸定が丘歴史公園

徳川昭武が建てた、全国で唯一、一般公開されている徳川家の住まい「戸定邸」
や茶室「松雲亭」、自然あふれる公園を会場とします。

記者の皆さま限定 特別先行内覧会 概要

実施日時/2019年11月15日(金)13時30分~

受付場所/戸定邸玄関(松戸市松戸741-1)

実施内容/展示作品の特別先行内覧会、

研究者やアーティストへの個別取材

※事前のお申し込み方法、取材できる人物などの詳細につきましては、後ほど別途ご案内いたします。



特別展覧会・ワークショップ

※トークやワークショップ等は、公式ホームページから先行予約を受け付けていますが、当日参加も可能です。ただし、定員があるものは、定員に達した場合、観覧は可能ですが参加体験はできません。

○アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ

小川秀明&Nicolas Naveau(ニコラス・ナヴェオー)

(オーストリア)

アルスエレクトロニカのシンクタンク部門として、アート・テクノロジー・社会について研究開発を実践。まだ見ぬ未来へのシナリオを芸術・実験的に具現化しています。本フェスティバルを共同でキュレーションしています。

11月16日(土)13時から戸定邸にてトーク開催。



テーマ 未来の社会(松雲亭)

【SWITCH(スイッチ)】

アルスエレクトロニカ・フューチャーラボと電子教材で知られるElekit(エレキット)が共同で開発したインタラクティブお絵描きボード。市民の松戸への問いと一人一人の多様な未来へのアクションが可視化される参加型プロジェクトです。





●松戸の今と未来を描くワークショップと展示

11月16日(土) 10時30分～12時に、作品の一部となる SWITCH ボードを制作するワークショップを実施し、完成後、作品として展示します。

小学生以上、20名限定、無料

【Questioning News (クエスチョニング ニュース)】

展示物に浮き上がっては消えるリアルタイムのニュースを表示。普段何気なく接するニュースに「？」が付いたら何を思うか、真実とは何か、信頼とは何か。私たちは21世紀に何を信じるかを見る人に問う作品です。

【Listening to Nature (リスニング トゥー ネイチャー)】

普段は聴くことのない松雲亭の庭園に広がるマイクロな世界の音を用いて静かな思考の空間を生み出します。部屋に入り、ヘッドフォンをつけると、庭園の音とともに、哲学的な問いをサウンドスケープとして体験できます。

○市原えつこ (日本)

日本の文化・習慣・信仰をテクノロジーによって新しい形で表現する新進気鋭のメディア・アーティストで妄想インベーター。第20回文化庁メディア芸術祭、アルスエレクトロニカなど国内外の各種芸術賞を受賞。

11月16日(土)14時30分から戸定邸にてトーク開催。



テーマ 未来の儀式 (戸定邸)

【デジタルシャーマンプロジェクト】

市原氏の代表作で、科学技術が発展した現代向けに、新しい吊いのかたちを提案する作品。家庭用ロボットに故人の顔をつけて、口癖やしぐさなど身体的特徴を再現するモーションプログラムを開発。会期中は来場者が体験できます。



【仮想通貨奉納祭 (サーバー神輿・神輿の儀)】

「神事のアップデート」をテーマに、世界中から仮想通貨を集めてリアルタイムにサーバー神輿に反映、集まった仮想通貨は「土地の豊穡」のために再分配するという未来の新たな祝祭や伝承をつくるプロジェクト。本フェスティバルでは仮想通貨の着金に応じてインタラクションするサーバー神輿を展示します。11月16日(土) 15時30分頃からは、サーバー神輿を来場者と一緒に担いで、公園内を回ります。





○東京大学生産技術研究所 山中俊治研究室（日本）

東京大学生産技術研究所・山中俊治教授の研究室では、様々な研究者や企業と連携して、技術開発の可能性を模索するプロトタイプをデザイン、制作しています。先端製造技術がもたらす新しいものづくりや、人の身体と人工物が関わる医療分野へのデザインの導入を試み、未来の人工物のありかたを研究しています。



テーマ 未来のものづくり（製造）（戸定邸）

【構造触感】

素材をくっつけて形を造る、3Dプリンティングは従来の製造技術に比べて複雑な形を自由に作ることを可能にしました。コンピュータを用いて微細な構造を設計し、付加的に造形することによって実現する新しい触感。3Dプリンティングがひらく「未来の手ざわり」を提示します。来場者は作品に直接触れることができます。



【READY TO CRAWL（レディー トゥー クロール）】

一般的に、機械は異なる材料・製造方法で作られたバラバラの部品を組み立てて完成しますが、3Dプリンターは、複数部品であっても初めから連結した状態で一体成型が可能。動力源のモーター以外の全部品を一体成型し、生物のように完成された状態で生まれてくるロボット群を展示します。



【美しい義足】

義肢はこれまで、失われた四肢の代替物として健常者の身体に近づけることが理想とされてきました。しかし、義足アスリートたちが薄いブレードでトラックを駆け抜ける姿は、失われたその場所こそが、新たな可能性であることに気付かせてくれます。最先端のデジタル技術や素材で開発した義足を展示します。



※東京大学の作品写真はすべて、写真クレジット：加藤康

○田所 淳（たどころ あつし）（日本）

アルゴリズムを用いた音響合成による音楽作品の創作や音と映像による即興演奏、インスタレーション作品の展示などを行うクリエイティブコーダー。前橋工科大学准教授、東京藝術大学及び慶応義塾大学非常勤講師。松戸市出身。





テーマ 未来のものづくり（プログラミング）（戸定邸）

【自律同期するリズム・共鳴する間】

戸定邸奥座敷の床の上に配置された小さな装置から出力される音と映像が互いに制御し合いながら空間全体でリズムパターンを生み出します。音と映像は録音や録画ではなく、コンピュータ内で動作するプログラムからリアルタイムに生成。一つ一つのプログラムが影響し合いながら自律的に変化する音と映像を体験できます。湯殿には本フェスティバルのために作られた作品を展示します。



●ライブコーディング・ワークショップ

11月17日（日）10時～11時45分、14時～15時45分に、楽器を演奏するようにプログラミングしながら演奏する、ライブコーディングの世界を体験できるワークショップを実施。プログラム未経験の人でも参加可能です。

小学生以上（小学生の場合は親御さんと一緒にご参加ください）、各20名限定、無料（要戸定邸入館料）、パソコンとイヤホンを持参

●ライブパフォーマンス

11月17日（日）15時45分～16時に、田所氏によるライブパフォーマンスを実施。

○Space Art Project（スペースアートプロジェクト）（アメリカ）

世界中の宇宙アートプロジェクトをつなぐ、国境を越えた学芸プラットフォームであり、展覧会シリーズ。芸術、科学、宇宙、生命を結び付け、人類の未来を創造するプロジェクトを企画運営し、革新的なビジョンのもと、国際的なコラボレーションプロジェクトを進めています。

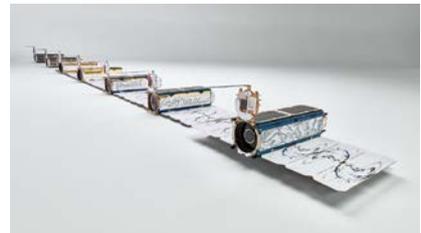


Photo credit: NASA/Terry Virts

（戸定邸）

【Space Art DNA Time Capsule（スペースアートディーエヌエータイムカプセル）】

世界中の個人が描いた、宇宙と未来の人類への視覚的なメッセージをクラウドソーシングによって収集し、DNAにデータとして保存します。このDNAは宇宙飛行用にデザインした極小の軽量容器に包まれ、ロケットまたは衛星に乗って低地球軌道に打ち上げられます。戸定邸にドローイングの作成コーナーを設置し、来場した皆さんが書いたメッセージをコレクションします。メッセージはDNAに保存され、いつか宇宙へ！過去に人類が宇宙へと打ち上げた宇宙アートも展示します。



※写真クレジット：

Planet Labs:Dove satellites photo by Carter Dow.Art by Forest Stearns



○千葉大学園芸学部 応用昆虫学 野村昌史研究室（日本）

千葉大学園芸学部に設立以来、一貫して昆虫やダニ類の基礎的な研究とその応用に関する研究を行う野村昌史准教授の研究室。害虫や天敵類の生活史や行動、植物と昆虫、捕食者と被食者等の様々な関係、そして害虫や天敵の分子系統解析と、共生微生物に関する基礎研究、そして環境に優しい害虫防除を実践する応用研究の2つの柱を軸としています。



（戸定が丘歴史公園）

【アウトドアワークショップ 戸定が丘・科学と芸術の丘探検隊】

野村先生や大学生の皆さんと一緒に自然いっぱいの戸定が丘歴史公園内を探検しながら、昆虫や植物を観察するアウトドアワークショップです。様々な生き物をじっくり観察、お子さんも楽しめます。

両日ともに11時から、14時から

各先着15人程度（保護者同伴可）

集合場所は、公園内の「丘のマルシェ」受付



○松戸市少年少女発明クラブ（日本）

昭和58年に発足、松戸が世界に誇るマブチモーターをはじめとして地元企業からの支援を受けて、小学3年生から中学生までが新松戸を拠点に豊かなアイデアと発想力でものづくりの楽しさを体験しています。



テーマ 未来へのチャレンジ（戸定邸）

【全国少年少女チャレンジ創造コンテスト受賞作品】

全国大会10年連続受賞の実績を持つ同クラブの子どもたちが、コンテストでメダルを受賞した作品と動画を展示します。からくりのパフォーマンスが楽しい、未来を築く子どもたちによる創造性豊かな発明作品です。





特別ゲスト 基調講演 (戸定邸)

○世界最高齢 84 歳のアプリ開発者・若宮正子 (日本)

1935 年生まれ、東京都出身。三菱銀行(現在の三菱 UFJ 銀行)を定年退職後にパソコンを学び始めました。現在84 歳ながら、国連情報社会世界サミット大賞日本大会で最優秀賞を受賞、米国Appleの世界サミット「WWDC2017」に招待され話題に。TED×Tokyo(テッド トーキョー)など世界中で登壇し、首相官邸「人生 100 年時代構想会議」の有識者メンバーにも選ばれました。



【世界最高齢 84 歳アプリ開発者に学ぶ 人生 100 年時代の生き方とイノベーション】



日時：11月17日(日) 13時～13時45分

会場：戸定邸 表座敷棟 (大広間)

費用：無料 (要戸定邸入館料)

※先行予約を受付中。

詳細は公式ホームページにて。

※先行予約の受け付けを締め切った場合でも、

当日講演を聴くことができますが、来場者多数

の場合は、人数制限を行うことがあります。(戸定邸への入館は、人数制限時も可能)

ガーデンカフェ 丘のマルシェ (戸定が丘歴史公園)

松戸を中心に活動する若手が運営するカフェや雑貨店などが集まるガーデンマルシェを開催。美味しいコーヒーやフード、雑貨との出会いが楽しめます。



●11月16日(土)

and coffee(松戸市常盤平・コーヒー、ドリンク、焼き菓子)、café Delizo(船橋市・お弁当、スープ)、CB PAC(鎌ヶ谷市・千葉のセレクトショップ)、smokebooks(松戸市稔台・古書の販売)、俵珈琲(松戸市河原塚・エスプレッソをメインにしたカフェ)、Daily Surf(松戸市三矢小台・カフェ)、Tokoa coffee(松戸市常盤平・コーヒー提供、コーヒー豆販売)、BEBOP BAGLE(松戸市本町・ベーグル)、North6 Antiques(松戸市稔台・アンティーク家具、雑貨の販売)、マルサン堂(松戸市常盤平・パン屋)、MoonboW(市川市・手作りマフィンと焼き菓子)、自然素材 yosagena(柏市・フード、物販)



●11月17日(日)

and coffee(松戸市常盤平・コーヒー、ドリンク、焼き菓子)、せんぱく Bookbase(松戸市河原塚・シェア本屋)、TABELL kitchen(市川市他・ジビエソーセージとゴロゴロ野菜のポトフ)、俵珈琲(松戸市河原塚・エスプレッソをメインにしたカフェ)、Daily Surf(松戸市三矢小台・カフェ)、Tokoa coffee(松戸市常盤平・コーヒー提供、コーヒー豆販売)、眞嶋農園(松戸市六高台・野菜販売)、マルサン堂(松戸市常盤平・パン屋)、MoonboW(市川市・手作りマフィンと焼き菓子)、山田屋の家庭用品(松戸市本町・荒物雑貨等)、レトロサイクルアンドカフェ((松戸市河原塚・焼きパスタと焼き菓子)、ym.(松戸市本町・カフェ)

○総合ディレクター／清水陽子



科学と芸術を融合するテクノロジーやインスタレーションをグローバルに研究、制作、発表。アメリカで育ちニューヨークのアートの影響を受ける。大学では生物化学を専攻。現在は自身のラボ「+1e(プラスワンイー)」においてバイオテクノロジーなどの先端科学を用いたデザインを研究しながら、国内外のギャラリーやミュージアム、企業(資生堂など)などで作品を展示する他、国際放送局でのパーソナリティや、TED TOKYO(テッド トーキョー)、FITC TOKYO(エフアイティーシートーキョー)、アルスエレクトロニカなどのグローバルイベントにおけるトークやパフォーマンスなど、メディアを通じた活動を行う。各種芸術賞を受賞。

○イベントの詳細は、
「科学と芸術の丘」公式ホームページを
ご覧ください。

<https://science-art-matsudo.net/>



【主催】松戸市

【運営委託】0! - Zero Factorial (ゼロファクトリアル)

代表の清水陽子と、松戸市でアーティストやクリエイターに不動産を紹介する omusubi 不動産(有限会社トノコーポレーション)を中心に活動。

【協力】アルスエレクトロニカ、東京大学生産技術研究所 山中研究室、千葉大学園芸学部 応用昆虫学 野村研究室、松戸市少年少女発明クラブ

【後援】JOBANアートライン協議会、松戸商工会議所、一般社団法人松戸市観光協会、公益財団法人松戸市文化振興財団、公益財団法人松戸市国際交流協会、松戸市教育委員会

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課 ☎047-366-7327